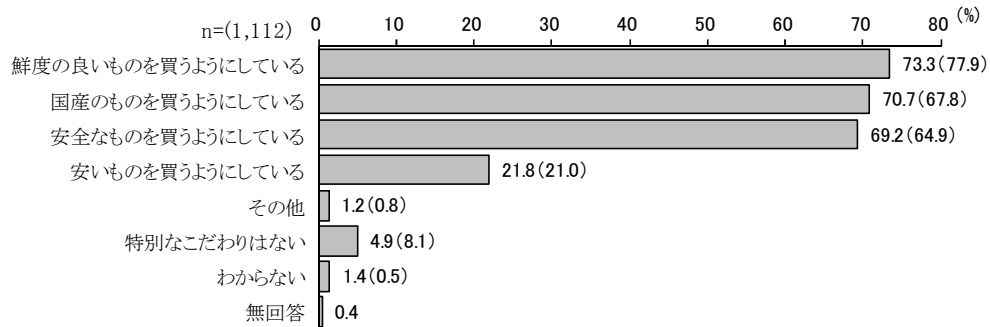


VIII 農林水産物の購入に関する意識

1. 農林水産物の購入時に気にかけていること

－「鮮度の良いものを買うようにしている」が7割台半ば－

問26 農林水産物を購入するときに、気にかけていることは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。



※()内の数値は、平成25年の調査結果

農林水産物の購入時に気にかけていることとしては、「鮮度の良いものを買うようにしている」(73.3%)が7割台半ばと最も高く、次いで、「国産のものを買うようにしている」(70.7%)と「安全なものを買うようにしている」(69.2%)が約7割で続いている。

－「鮮度の良いものを買うようにしている」が約5ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、「鮮度の良いものを買うようにしている」が約5ポイント減少している。

－県央で「鮮度の良いものを買うようにしている」が8割台半ば－

地域別でみると、県央で「鮮度の良いものを買うようにしている」(85.2%)が8割台半ばと最も高く、次いで「安全なものを買うようにしている」(77.6%)が約8割と高くなっている。

－女性で「鮮度の良いものを買うようにしている」と「国産のものを買うようにしている」が男性よりも約9ポイント高い－

性別でみると、「鮮度の良いものを買うようにしている」は、女性(77.7%)が男性(69.0%)よりも、「国産のものを買うようにしている」は、女性(75.2%)が男性(66.3%)よりも、それぞれ約9ポイント高くなっている。

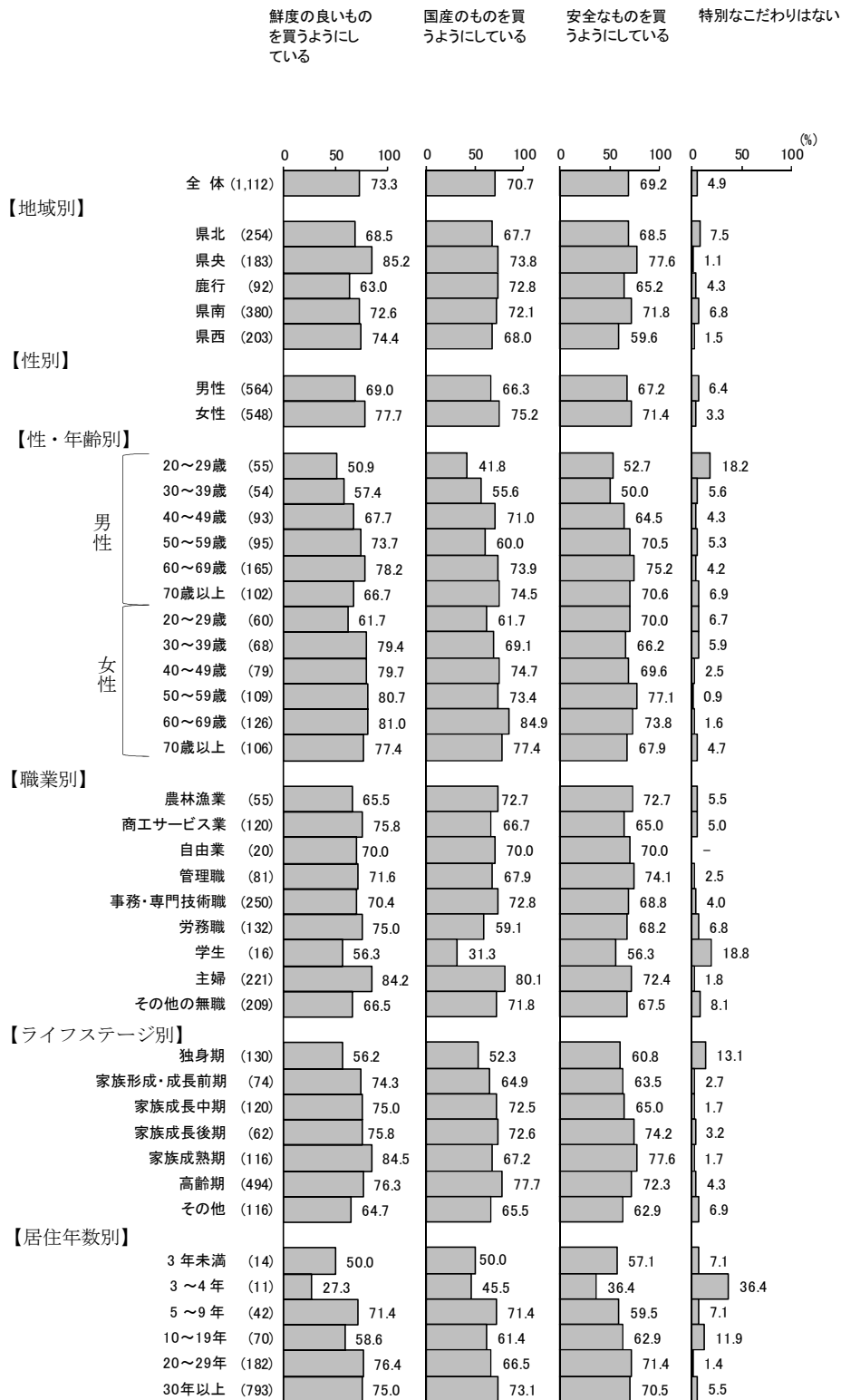
－女性の60代で「国産のものを買うようにしている」が8割台半ば－

性・年齢別でみると、「国産のものを買うようにしている」は、女性の60代(84.9%)で8割台半ばと最も高くなっている。

－主婦で「鮮度の良いものを買うようにしている」と「国産のものを買うようにしている」が8割台前半－

職業別でみると、主婦で「鮮度の良いものを買うようにしている」(84.2%)と「国産のものを買うようにしている」(80.1%)が8割台前半と高くなっている。

図Ⅷ 26-1 農林水産物の購入時に気にかけていること
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

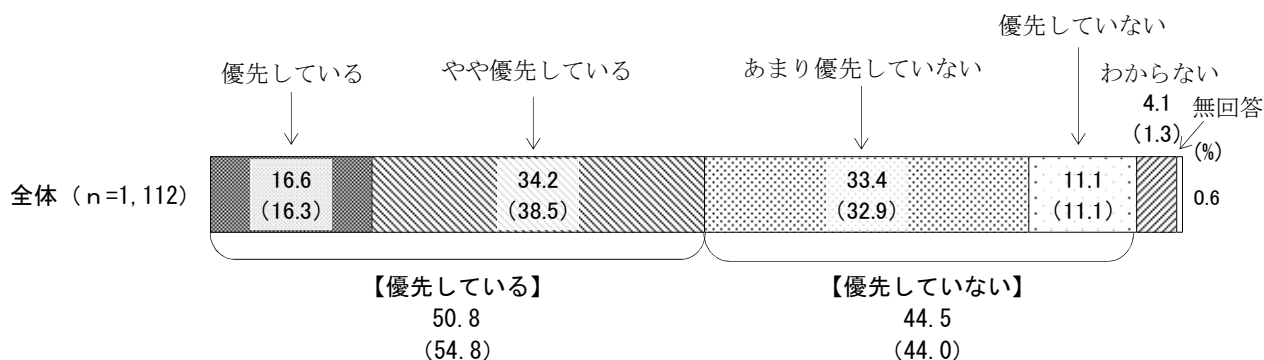


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

2. 農林水産物の購入時における茨城県産の優先度

－【優先している】が約5割－

問27 あなたは、農林水産物を購入する際、茨城県産を優先して購入していますか。次の中から一番近いものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成25年の調査結果

※「わからない」は、平成25年では「わからない・無回答」。

農林水産物の購入時における茨城県産の優先度としては、「優先している」(16.6%)と「やや優先している」(34.2%)を合わせた【優先している】(50.8%)が約5割となっている。一方、「あまり優先していない」(33.4%)と「優先していない」(11.1%)を合わせた【優先していない】(44.5%)は、4割台半ばとなっている。

－【優先している】が4ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、【優先している】が4ポイント減少している。

－県央で【優先している】が5割台半ば－

地域別でみると、【優先している】は、県央(56.9%)で5割台半ばと最も高くなっている。

－女性で【優先している】が男性よりも約8ポイント高い－

性別でみると、【優先している】は、女性(54.8%)が男性(46.9%)よりも約8ポイント高くなっている。

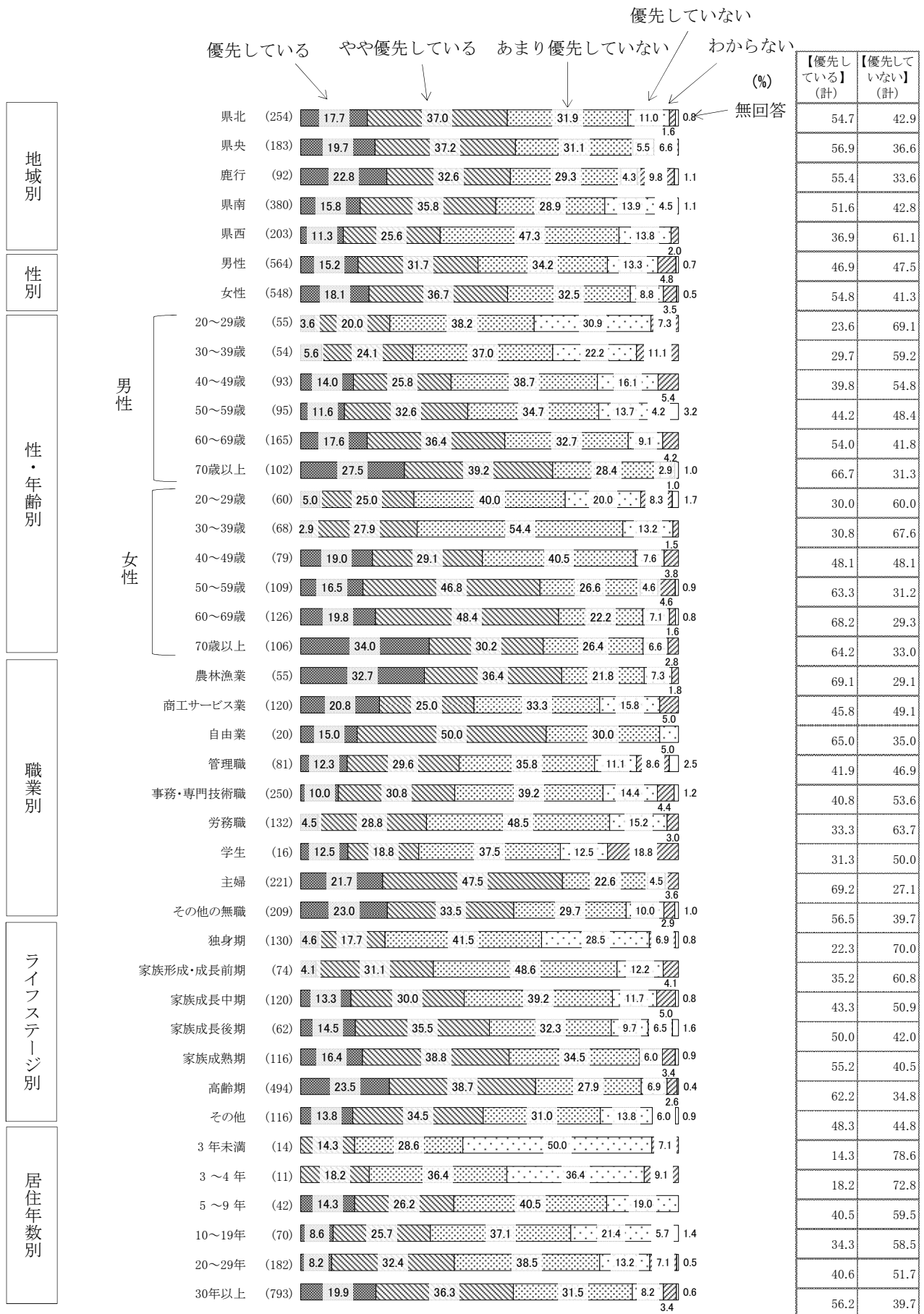
－女性の50代、60代、70歳以上で、【優先している】が6割台－

性・年齢別でみると、【優先している】は、女性の50代(63.3%)、60代(68.2%)、70歳以上(64.2%)で6割台と高くなっており、特に女性の60代が最も高くなっている。

－農林漁業と主婦で【優先している】が約7割－

職業別でみると、【優先している】は、農林漁業(69.1%)と主婦(69.2%)で約7割と高くなっている。

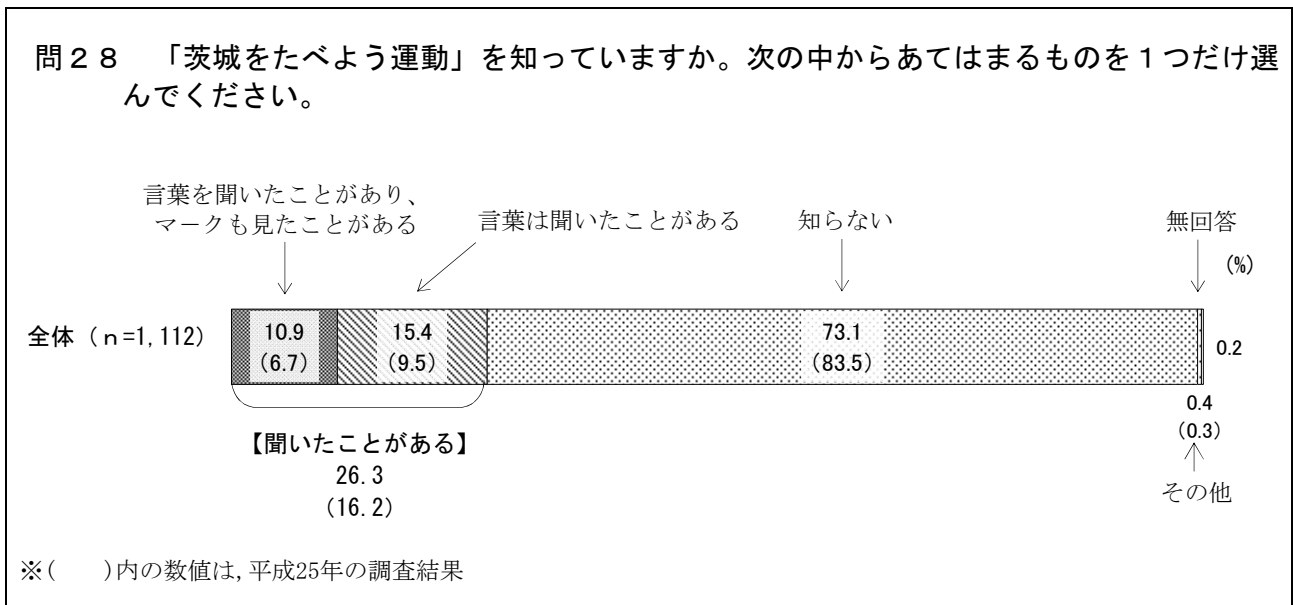
図Ⅷ 27-1 農林水産物の購入時における茨城県産の優先度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

3. 「茨城をたべよう運動」の認知度

－【聞いたことがある】が2割台半ば－



「茨城をたべよう運動」の認知度としては、「言葉を聞いたことがあり、マークも見たことがある」(10.9%)と「言葉は聞いたことがある」(15.4%)を合わせた【聞いたことがある】(26.3%)は、2割台半ばとなっている。一方、「知らない」(73.1%)が7割台半ばとなっている。

－【聞いたことがある】が約10ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、【聞いたことがある】が、約10ポイント増加している。

－県央で【聞いたことがある】が4割超－

地域別でみると、【聞いたことがある】は、県央(41.6%)で4割を超えて最も高くなっている。

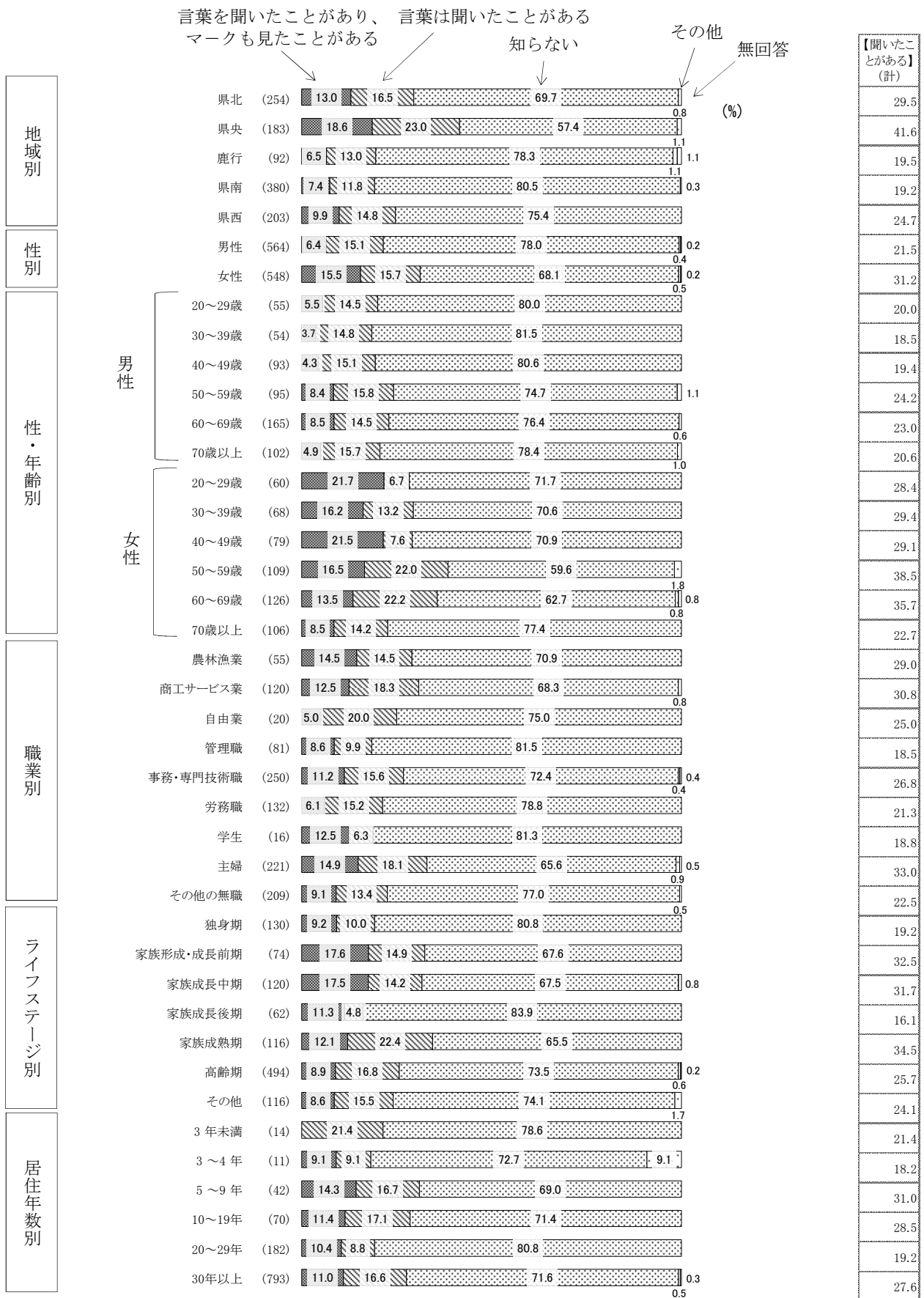
－女性で【聞いたことがある】が男性よりも約10ポイント高い－

性別でみると、【聞いたことがある】は、女性(31.2%)が男性(21.5%)よりも約10ポイント高くなっている。

－女性の50代と60代で【聞いたことがある】が3割台後半－

性・年齢別でみると、【聞いたことがある】は、女性の50代(38.5%)と60代(35.7%)で3割台後半と高くなっている。

図Ⅷ 28-1 「茨城をたべよう運動」の認知度
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。